

地域で支えよう みんなで育てよう

# 学校支援地域本部事業

実践ハンドブック



<http://shien.skr.jp/>

香芝市

学校支援地域本部

# 香芝市学校支援地域本部事業実践ハンドブック

## 目次

学校支援地域本部事業とは.....	1
学校支援地域本部事業のしくみ.....	2
学校支援ボランティアとは.....	3
学校支援ボランティア活動の流れ.....	4
どんなボランティアができるのかな？.....	5
学校ではどんなボランティアを探しているのかな？.....	5
学校支援ボランティアをはじめよう.....	6
学校支援ボランティアの活動紹介.....	7
学校とつながるために.....	8
学校の1日の流れ（日課）.....	10
学校の1年（行事等）.....	11
学校でよく使われる言葉や用語.....	12
子どもたちの特徴.....	13
学校支援ボランティアとして活動する際の留意点.....	14
ボランティアの輪を広げよう.....	15
学校支援ボランティアとともに活動するために = 先生方へ =	
学校支援ボランティアをお願いしよう.....	16
学校でのボランティア活動の意義.....	17
子どもたち・先生たちにとって.....	18
学校支援ボランティアの方々を迎え入れる際には.....	19
学校の受け入れ体制を整備しよう.....	20

## 学校支援地域本部事業とは

学校支援地域本部は、学校を支援するため、学校が必要とする活動について地域の方々をボランティアとして派遣する組織で、いわば「地域につくられた学校の応援団」といえます。

これまでも各学校では、地域のボランティアの協力を得ながら学校運営や教育活動を行っており、学校支援地域本部は、そうした取組をさらに充実させ、広げるものです。

地域のボランティアが学校を支援するこれまでの取組をさらに発展させて組織的なものとし、学校の求めと地域の力をマッチングして、より効果的な学校支援を行おうとするものです。

### 学校支援地域本部事業の目的

- 1．香芝市民の地域力の向上（コミュニティーづくり）
- 2．学校の負担軽減（学校教育への専念）

学校支援地域本部事業は、学校・家庭・地域が一体となって地域ぐるみで子どもを育てる体制を整えることを目的としています。

子どもたちの教育を  
よりよいものとしめます

子どもの多様な体験・経験の増加  
規範意識・コミュニケーション能力の向上  
多くの目できめ細やかな教育  
子どもとしっかり向き合う時間の拡充

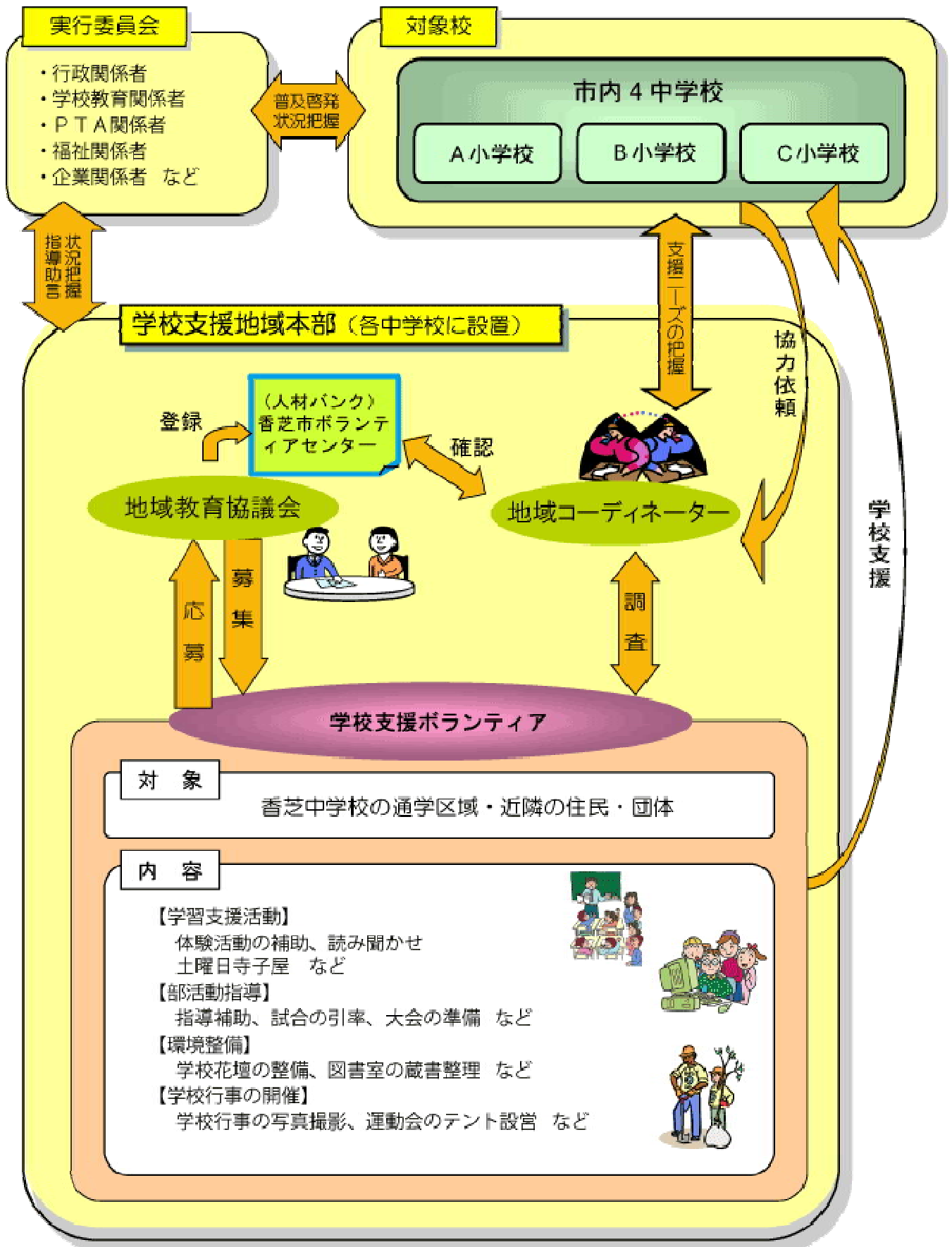
生涯学習社会を  
実現します

地域の教育力が  
向上します

地域住民の経験や知識、学んだ成果  
を生かす場  
自己実現や生きがいつくり

地域のきずなづくり  
地域の活性化・地域づくり

# 学校支援地域本部事業のしくみ



## 学校支援ボランティアとは

「子どもたちの教育のために役立ちたい！」という熱い思いを持って、学校の教育活動や学校の環境整備などを支援するボランティア活動です。

### 学校支援ボランティア活動の特色

学校の要請に応じて、できる人が、できる時に、できることを支援します。

他人から強制されるのではなく、自発的意志によって行われます。先生や子どもと一緒に活動し、学校をより良くしていく活動です。ボランティア自身の経験や専門性を生かす活動です。地域の絆が深まり、地域の活性化に役立つ活動です。

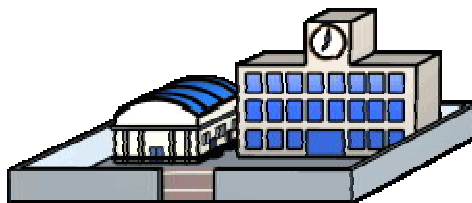


# 学校支援ボランティア活動の流れ

ボランティアをする人



学 校



子どもたちのために  
学校でボランティア  
活動をしたい

こんなボランティアが  
いてくれるといいな

地域教育協議会  
地域コーディネーターに  
相談しよう

ボランティア活動の決定

オリエンテーションに参加  
(事前打ち合わせ)

活動の実施

活動のふりかえり

どんなボランティアができるかな？  
学校ではどんなボランティアを探しているのかな？

学校では、より高い教育効果を期待して、学校支援ボランティアの協力を求めています。また、地域でも、子どもたちのために何か協力できることはないかと考えている人が増えてきています。

- 「花壇の整備はできそうだ」
- 「野菜作りを教えられそうだな」
- 「登下校の見守りだったらできそうだ」
- 「通学路のパトロールができそうだぞ」
- 「本の読み聞かせができるぞ」
- 「地域の歴史を伝えていきたいなあ」
- 「パソコンの技術が役に立たないかなあ」
- 「裁縫は教えられるわ」
- 「ドリル学習のまるつけを手伝えそうだ」
- ・
- ・
- ・

子ども立ちが健やかに育って欲しいという願いがあればOKです。

「是非子どもたちのために！」と思ったら、学校支援地域本部の「地域コーディネーター」に問い合わせてみましょう。学校だよりなどで情報を得ることもできます。

## 学校支援ボランティアを始めよう

『子どもたちのために学校で  
何かお手伝いをしたい!』

情報を集めてみよう  
誰かに聞いてみよう

香芝市地域教育協議会のホームページで情報を探してみましよう!  
(<http://shien.skr.jp/>)

地域コーディネーターに相談してみましよう。  
教育委員会や学校などに相談してみましよう。

## 学校支援ボランティアに登録しよう

香芝市総合福祉センター内のボランティアセンターで登録受け付けしています。( : 7 6 - 7 1 7 9 )

香芝中学校・香芝西中学校・香芝北中学校・香芝東中学校のそれぞれの学校でも登録受け付けをしています。

## 活動内容の決定

ボランティアの受付が完了し、活動の準備が整います。  
ボランティア活動の要請があれば活動が開始されます。

## 活動の前に事前打ち合わせをしよう

学校での活動の留意点や先生がどんな支援を求めているのか、しっかり確認しましょう。

## 活動の実施



## 学校支援ボランティアの活動紹介

学校支援ボランティアには、地域住民が持っている専門的知識や技術が必要なものもありますが、誰にでもできるボランティア活動もたくさんあります。

花壇の整備  
草刈りや植木の剪定  
校舎の修理や清掃

学区内の安全パトロール  
登下校の見守り  
校内の見回り



本の読み聞かせ  
図書室・読書活動充実のための支援  
クラブ活動の指導  
学校行事の支援  
伝統芸能や地域の歴史学習の指導  
部活動の指導



学習の指導支援  
家庭科の実習の支援  
水泳学習の支援  
図工や美術、音楽等の実習の支援  
学習教材の作成・補修  
校外学習の引率支援

## 学校とつながるために

学校支援ボランティアとして活動するときに、ちょっとした心の準備で気持ちよく活動することができます。

### 1 学校にはねらいや計画があります。

学校には、「こんな子どもに育てほしい」という願いを込めた教育目標があります。

これは、地域や子どもの実態を踏まえ、学校ごとに決めています。活動前に目を通しておきたいものの一つです。

### 2 学校は子どもの安全を守っています。

学校には、「子どもの安全確保」という大前提があり、学校関係者以外の突然の来校者・訪問者については、たとえ善意の地域住民であっても必ず目で確認し、安全を確かめるようにしています。

学校・子どもたちと知り合いになって、みなさんも「関係者」になってください。

### 3 校舎にはいるときには玄関などで記名が必要です。

学校の危機管理の面から、来校者は氏名、所属、用件などを玄関口で記入することがあります。名札をつける学校もあります。来校したときはできるだけ職員室に立ち寄りましょう。

### 4 学校の先生と話をすることができる時間は限られます。

学校には決められた時間の流れ（日課）があり、いつでも先生と話ができるわけではありません。連絡の取りやすい時間を確認しましょう。また、事前に連絡を取ることも大切です。

## 5 学校では相談にのってくれる窓口の先生がおられます。

学校への相談事があったら、まずは教頭先生や、担当の先生に連絡してみましょう。

## 6 連絡は電話よりもメールやFAXの方が確実です。

先生方が職員室に戻ることのできる時間は本当に限られています。電話に出ることは難しいので、確実に連絡を取りたいときにはメールやFAXを利用するのがよいでしょう。

## 7 活動を予定していた日がキャンセルになることもあります。

学校の授業や活動は、必ずしも計画通りに進むとは限りません。子どもたちの実態や天候、突発的な行事などにより、進み方が前後することがあります。ボランティアとして活動する日がキャンセルとなる場合もありますので、心得ておきましょう。

## 8 学校の受け入れ体制はそれぞれ違います。

同じ内容の活動であっても、学校ごとに受け入れ体制は異なります。また、同じ学校であっても、年度によって変わることもあります。学校の方針に沿って柔軟に活動することが望ましいです。

## 9 学校の生活や仕組みを理解することも大切です。

学校の一日の流れ（日課）や主な学校行事などについて知っておくとよいでしょう。

これらはすべての学校に当てはまるとは限りません。

## 学校の1日の流れ(日課)

学校には1日の流れ(日課)があります。それぞれの学校の特色を生かし、工夫されていますが、おおむね次のような流れです。

地区や学校、曜日によって違いがあります。

小学校は45分授業、中学校は50分授業

### ある小学校の1日



#### <教職員>

7:45

登 校

・通学路で交通指導

8:15

職員打合せ・朝読書

8:30

・連絡事項の確認

8:30

朝 の 会

8:40

・出欠確認、連絡

8:40

1・2校時

10:20

10:20

長休み・業間活動  
(授業の間の活動)

10:45

・体力づくり  
・児童会活動  
・その他活動の支援

10:45

3・4校時

12:25

12:25

給 食

13:10

・食事指導

13:10

昼 休 み

13:45

・子どもたちと活動  
・休憩

13:45

清 掃

14:05

・清掃指導、見回り

14:10

5 校 時

14:55

14:55 15:05  
帰りの会

15:00 15:45  
6校時  
帰りの会

・明日の確認

放 課 後

・明日の授業の準備  
・職員会議や研修  
・その他の事務作業

先生たちと打ち合わせができそうな時間!  
(でも必ず事前に連絡を)

## 学校の1年（行事等）

学校では年間を通じた授業のほかに、各季節ごとに様々な行事を計画しています。学校行事もボランティアの絶好の活動場面です。

（例えば）



春

入学式・始業式  
新入生の登下校安全指導  
新入生の給食清掃指導  
体力テスト  
運動能力テスト  
校外体験学習  
保護者会

夏

プール清掃  
プール開き  
水泳大会  
夏休み  
校内外環境整備



修学旅行・宿泊学習  
運動会・マラソン大会  
などもあります

夏休み作品展  
文化祭・学習発表会

冬

書き初め大会  
卒業生を送る会  
卒業式  
校内外環境整備

秋



## 学校でよく使われる言葉や用語

### 校 時

授業での1単位時間。小学校では45分、中学校は50分

### 指導案

学習のめあてや内容、指導方法、時間配分などを書いたもの

### T・T

チームティーチングの略

一つの授業を二人以上の教師によって指導する。

### ゲストティーチャー

学校の要請により、授業の援助・補助活動を行う。

### 生活科

体験的な学習を通して、自立への基礎となる力を育てることを目的に作られた。

理科と社会の内容を含む低学年の教科

### 総 合

従来の教科の枠にとらわれず環境、地域、社会福祉、国際交流などの学習を通して、表現力やコミュニケーション能力など生きる力を育てる問題解決学習

### 少人数学級

子どもたちの習熟の状況や学習のねらいなどに応じて小さい集団で行う指導のこと。

### 習熟度別学習

その教科に対する子どもたちの習熟度・理解度に応じて複数の学級をいくつかのグループに編成し直したり、一つの学級をいくつかのグループに分けて学習すること。

### ALT (Assistant Language Teacher)

児童になまの英語活動を体験させるため授業に入り込んでもらう指導者

## 子どもたちの特徴

### 小学校低学年（１・２年生）

何にでも興味や関心を示し、一生懸命に取り組みます。  
男女の区別なく仲良く遊んだり活動したりすることができます。  
学校生活のきまりや基本をたくさん学ぶ時期です。

### 小学校中学年（３・４年生）

仲間意識が芽生え、学級やグループなどの組織的な活動にも意欲的に取り組みます。  
体験活動などにも主体的に参加するようになります。  
学習や運動に活発に取り組み、個性を発揮する時期です。

### 小学校高学年（５・６年生）

低学年と一緒に縦割り活動などでは、リーダーとして活躍します。  
学習課題に向かって計画的に学習を進められるようになります。  
男子と女子の体格の変化が生じてくる時期です。

### 中学生

精神的に女子の方がやや成長が早く、落ち着いてきます。  
反抗したり自己主張したりするなど、変化が激しい時期です。  
社会体験活動などを通して自分の進路を考える時期です。



## 学校支援ボランティアとして 活動する際の留意点

### 子どもをほめましょう

ほんの些細なことでもよいところを見つけてほめてあげよう。ほめられるのが嫌いな子はいません。子どもはうれしくて意欲的に活動に取り組むようになります。

### 自信をもって大きな声で話をしましょう

せっかく楽しく役に立つ話でも、聞こえなければ子どもたちは飽きてしまいます。自信をもって大きな声で話しましょう。丁寧な言葉遣いも大切です。

### 明るいあいさつを心がけましょう

最初の出会いが大切です。子どもの手本となるように、明るい声であいさつしましょう。

### 時には厳しく、毅然とした態度で接しましょう

友達を悲しませるようなことをしたり、けがや命に関わる言動があったりしたときには、遠慮せずしっかり注意しましょう。

### 活動の中で気づいたことは、先生方に相談しましょう

活動する中で「ん？」と思ったり、対応に困ったりしたときには、決してそのままにせず、必ず先生方に相談しましょう。

### 学校や先生の悪口は、子どもの前や地域で絶対に言わないようにしましょう

子どもたちが健やかに成長し、地域が元気になるためには大切なことです。疑問に感じるものがあったら、地域コーディネーター等に相談してみましょう。

以下のことは法令で禁じられています

どんなことがあっても行ってはいけません

・いかなる場合でも体罰を行ってはいけません

・活動の中で知り得た子どもの情報、秘密は厳守し

なければなりません



## 最初は一人ではじめても

最初は一人ではじめても、活動を通して仲間を作るよう心がけることが大切です。楽しく継続的なボランティア活動を行うためにも、ボランティアの輪を広げ仲間同士が積極的に交流の機会を設けましょう。

## ボランティアの輪をひろげよう

ボランティア活動は一人で行うこともありますが、やはり仲とともに行う方が楽しさが増えます。仲間が増えれば活動の悩み事があった場合に相談したり、アドバイスをし合うなどボランティアとしての資質を高めることにつながります。

地域にはボランティアとして協力してくれる方々がたくさんいます！

公民館の趣味のサークル  
体育協会  
芸術文化協会  
PTA  
商工会  
建築組合  
婦人会  
NPO法人  
ボランティアセンター登録者  
農・林・水産業従事者の会  
社会教育委員  
大学生 など



# 学校支援ボランティアとともに

活動するために



先生方へ

学校支援ボランティアをお願いしよう

学校でのボランティア活動の意義

学校支援ボランティアの方々はこんな思いをもっています

子どもたち・先生たちにとって

学校支援ボランティアの方々を迎え入れる際には

学校の受け入れ体制を整備しよう

学校支援ボランティアの活動内容

## 学校支援ボランティアをお願いしよう

「地域の方々の協力があれば、子どもたちのためにもっといろいろなことができるのになぁ・・・」

そんな先生方の思いを叶えてくれるものの一つが、学校支援地域本部事業です。地域の学校支援ボランティアの方々の協力によって、教育活動の幅が広がり、大きな教育効果を生むことができます。

こんなことを考えたことはありませんか？

「花壇の手入れや飼育小屋作りなどで人手が欲しいなぁ」

「学区内や校内をパトロールしてくれる人はいないかなぁ」

「学校図書館の運営をサポートしてくれる人はいないかなぁ」

「校外学習の引率を手伝ってくれる人が欲しいなぁ」

「地域素材を使って、子どもたちの学習理解を深めたいんだけど

・・・」

こんなときこそ、学校支援ボランティアをお願いするときです！

地域には「子どもたちの教育のために役に立ちたい」という住民の方々がいます。どういうボランティアが必要なのかを日頃から情報発信するように心がけ、「こんな人がいたら・・・」と思ったら、学校地域支援本部の地域コーディネーターに問い合わせてみましょう。

## 学校でのボランティア活動の意義

- 1 学校や子どもたちのことが分かり、学校や子どもとのつながりができます。
- 2 子どもたちから元気がもらえます。
- 3 ものの見方や考え方が深まり、自分の人間性が豊かになります。
- 4 自分の特技や学んだことが役立つことで、満足感や充実感を得ることができます。
- 5 より向上したい、学びたいという意欲が湧いてきます。

でも、ボランティアは・・・

足りない部分の補完ではありません。

暇つぶしではありません。

下請けではありません。

万能ではありません。

ボランティアを「する人」と「される人」は対等です。  
どちらからかの一方通行ではなく、一緒に活動することから始まります。



## 子どもたち・先生たちにとって

学校でボランティア活動をしてもらうと、学校に負担が増えると考えがちですが、学校支援ボランティアの活動は学校にとって多くのよいことがあり、ボランティアや地域の方々と協働することで、活気のある充実した学校教育が可能になります。

### 子どもたちにとって

地域の方々と活動や交流を繰り返すことで、社会性とコミュニケーション能力を育むことができます。

学校支援ボランティアの方々の専門的な知識や技能に触れることにより、学習意欲が喚起され、生きる力の育成につながります。

多様な価値観や文化に触れることができます。

子どもたち自身がボランティア活動に関心をもち、自分もボランティア活動に参加するきっかけとなります。

### 先生たちにとって

学校支援ボランティアの専門的な知識や技能を生かした、豊かな授業をつくることができます。

先生とは異なる視点から新しい学習の課題を見つけたり、提案したりするなど、学校にとって新たな発想や工夫をもたらします。

学校や子どもの実態を地域の方々に理解してもらえ、学校をより開かれたものにします。その結果、学校にすべてを任せるのではなく、地域の問題として共に考え、行動してもらえます。

学校支援ボランティア活動を通じて、学校への理解・共感を深めることができ、学校と地域の方々を強く結びつけます。

## 学校支援ボランティアの人たちを迎え入れる際には

### 1 ボランティアの気持ちを大切にしましょう

ボランティアの考えを尊重し、「思い」や「やる気」を十分に引き出しましょう。例えば、一緒に活動案を作ったりすると、双方の思いが生かされた活動につながっていきます。

### 2 連絡を密にしましょう

初めて学校に来てボランティア活動をする人たちは不安でいっぱいです。

あらかじめ準備するものや当日の役割分担などを十分に打ち合わせましょう。

### 3 ボランティアを全職員で気持ちよく迎えましょう

気軽にあいさつを交わし、全職員で気持ちよく対応しましょう。打ち合わせや掲示板等でボランティアの来校を伝えるなど、教職員間の共通理解を図ることが大切です。

### 4 子どもたちや保護者にも説明しておきましょう

ボランティアの方々が何のために来校しているのか、事前に説明しておくことが大切です。学校生活が地域の方々に支えられていることを理解できるような事前指導を心がけましょう。

### 5 活動を振り返りましょう

次の活動につなげるためにも、ボランティアの方々と活動内容の成果や課題、改善点などについて話し合しましょう。

## 学校の受け入れ体制を整備しよう

### 1 研修をしよう

学校支援ボランティアについての理解を深め、職員間での共通理解を図るためにも、校内での研修を行いましょ



### 2 ボランティア情報を発信しよう

学校がどんなボランティアを必要としているか、学校の情報を地域に発信し、必要としているボランティアを知ってもらいましょ

### 3 学校行事へ招待しよう



行事を通じて子どもたちの実態や学校の様子を理解してもらうことのできる絶好の機会です。学校への理解が深まり、先生や子どもたちとのコミュニケーションも生まれ、スムーズな活動につながります。これは、学校支援ボランティアの研修としても効果があります。

### 4 施設設備・教材を見てもらおう

学校にはどのような施設設備や教材があるのかという情報は、学校支援ボランティアが活動内容を考えるときにとても役立ちます。効果的に情報を提供する機会をつくりましょ

## 5 情報を共有しよう

学校の経営計画や学年目標、各学級担任や校務分掌など、学校が提供できる情報はできるだけ提供しましょう。学校側からの提供があることで、地域の情報も入ってきます。学校とボランティアの情報を交流させ、たくさん共有しましょう。

## 6 ボランティア掲示板をおこう

学校支援ボランティアが校内外で活動していることが子どもたちや先生たちにも分かるような「今日のボランティア」掲示板などを設置するとよいでしょう。



## 7 ボランティアの居場所を用意しよう

空き教室などを活用し、活動の準備や着替えのできる「ボランティアルーム」のような場所を設置することや、職員室の一角にソファを置いたりして、控えスペースを用意することが大切です。

## 8 ボランティア用の名札やリボンを用意しよう

安全管理の面からも、学校支援ボランティア専用の名札やリボンを用意し、活動中は必ず身につけてもらうようにしましょう。

